

夏休み残り2週間 思い出づくり終盤に

8月も半ばが過ぎ、猛暑続きだった夏休みも残り2週間。この週末、

島には県外の子どもの歓声が響き、佐世保市の図書館では小学生が

英語に親しんだ。残された時間を目いっぱい楽しみつつ、思い出づくりも終盤を迎えている。

福岡の小中生 壱岐を満喫

福岡市の小中学生や保護者ら約30人が18日、壱岐市を訪れ、都会とはまったく違う島の遊びを楽しんだ。19日までの2日間、自然豊かな島、壱岐を満喫する。博多区で造形絵画教室などを開く山王ひなた美術教室(成田章子代表)が、子どもたちに自然への関心を深めてもらおう、と企画。ジェットfoilで1時間。意外と近いが、日頃の生活環境とは正反対の壱岐を選んだ。

一支部博物館では、ろうを詰めたサザエの殻に、アクリル絵の具で赤や紫、黄など鮮やかな色を付け、カラフルな「サザエろうそく」に仕立てた。宿泊する壱岐市芦辺町のゲストハウスは海のそば。サビキ仕掛けにも挑み、10〜20匹のアジが釣れると子どもたちは大喜び。早良区と飯原小1年、白水幹大君(7)は「たくさん釣れてうれしい」と笑顔を見せた。19日は海水浴を楽しむ。(田中辰也)



アジを釣り上げ喜ぶ子ども。島の風と太陽が笑顔を輝かせる

アジ釣り／サザエの殻使いろうそく作り